

校 章

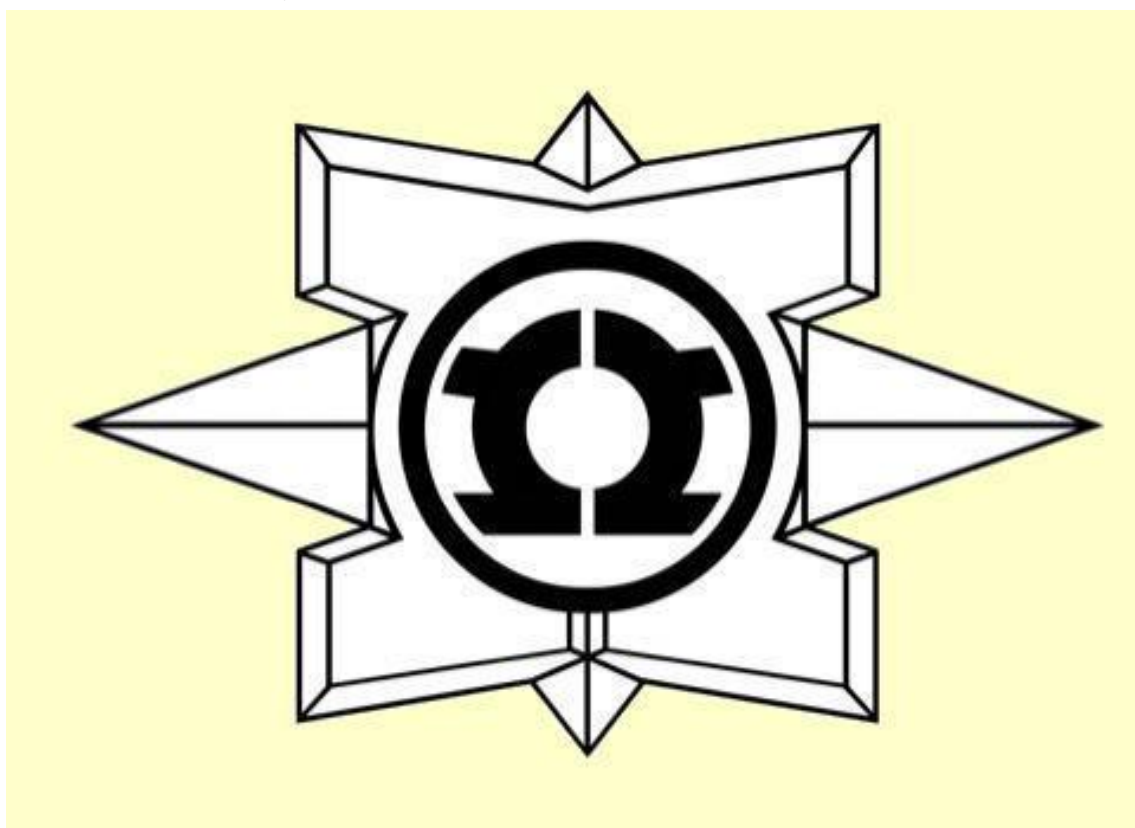
北陽小学校の校章は、三つのパーツから成り立っています。

まず、真ん中には、「北」という漢字をデザイン化したマークが描かれています。これは、開校当時、松任市の最も北に位置していたことから付けられたと思われます。

「北」の周りには円が描かれています。これは、勿論、太陽を表しています。二つのマークを合わせると「北」の「太陽」、すなわち、「北陽」になります。

次に「北」の「太陽」を囲んでいるのは、当時の「松任市市章」です。この頃新設された学校の校章によく使われています。

そして、「北陽小」が光り輝く学校になってほしいという願いを込めて、「市章」の背面から、「光」が四方へ伸びています。



校章が出来た経緯や誰がデザインしたかなど、当時のことは詳しくわかりません。当時の新聞記事などお持ちの方がいましたら、学校までご連絡ください。



松任市の市章

「マ」の字を組み合わせたもの。1957年に松任町章として制定され、市政施行後に再制定された。



白山市の市章

中央に白山を配し、三本の潮の流れは上の一本が手取川、下の二本は日本海をあらわしている。